

「学校や家庭での生活についてのアンケート」(後期) の結果等について (お知らせ)

本校教育活動(学校経営の重点項目)に対する保護者アンケート及び生徒アンケートの結果を受けて、本校学校運営についての自己評価を行いましたのでお知らせいたします。さまざまなご意見などを教育活動に活かすとともに、本校教育活動の更なる充実を図ってまいります。ご協力ありがとうございました。

【 学 ぶ 】「夢の広がる学校」… 探究力

4:とてもあてはまる 3:あてはまる 2:あてはまらない 1:まったくあてはまらない

数字上段:保護者(%) 下段:生徒(%)

NO	質問内容(生徒にも保護者と同じ内容の問いかけをしています。)	4	3	2	1
1	お子さんは、授業が楽しく、わかる、できると言っている。	11 41	67 53	19 5	3 1
2	お子さんは、目標やめあてを持って、自ら進んで授業に取り組んでいると言っている。	17 38	58 57	21 5	4 0
3	お子さんは、授業や家庭で、タブレット等の ICT 機器を活用して意欲的に学習に取り組んでいるようだ。	15 39	57 54	23 6	5 1
4	お子さんは、学校で学習したことを家庭で話をしたり、説明したりすることがある。	16 30	49 57	30 12	5 1
5	お子さんは、楯中 Life を活用して、家庭学習に計画的に取り組んでいる。	9 25	44 47	38 22	9 6
6	先生は、授業で間違えたところや、理解していないところについて、丁寧に教えてくれると言っている。	14 56	68 42	14 1	4 1
7	先生は、あなたが努力したことや良いところを認め、正しく評価してくれると言っている。	21 52	70 46	8 1	1 1

<今年度の取り組みや評価について>

◇今年度の主な取り組み

1 諸検査、調査結果を活用した授業改善

- 年度始めに実施した NRT や全国学力学習状況調査、実力テスト等の結果を分析し、指導改善に活かしています。

2 学びの動機づけと振り返りを大切にした授業づくり

- (1) 年度始めの各教科の授業開きでは「そもそもその教科をなぜ学ぶのか」について生徒に考えさせました。そして、生徒間で意見を交流させ、教科の特性について深く考える機会を設定しました。また、教科担当の思いや考えを伝えるなどして、学ぶことへの動機づけを大切にしました。
- (2) 各教科の単元ごとに、「学びのプラン」(単元の学習計画)を配布し、生徒と共有しています。学びの道筋を示すことで、生徒が見通しを持って学習に取り組めるようにしています。

(3) 毎時間、または単元の終末で行う「学びの振り返り」では、振り返りのポイントを示し、生徒の学びが深まるようにしています。また、授業での学びが実際の生活や社会に関連づけて考えられることができるように授業の内容も工夫しています。

3 **「楯中Life」の活用による学びの振り返り**

- より良い学習習慣を目指し、日々の学習や生活の様子を記録し、1日の学びを振り返ることができるようにしています。生徒が毎日提出することになっており、学級担任を中心に生徒の様子を把握し、励ましやアドバイスなどを行っています。

4 **一人一台端末などを効果的に活用した家庭学習の充実と授業との連動**

- 今年度から、個別学習アプリ「スタディサプリ」が導入されました。一人ひとりのペースで学習に取り組むことができる大変役立つコンテンツです。授業の中でも活用することで、その有効性を実感させ、家庭学習にもつなげたいと考えています。

◇生徒の実態やアンケート結果等より（前期との比較）

- **「授業が楽しく、わかる、できる」**と肯定的に回答した保護者は、75%→78%、生徒は90%→94%という結果になっています。保護者、生徒ともに、前期よりも更に高い数値になっています。
- **「目標やめあてを持って、自ら進んで授業に取り組んでいる」**と回答した保護者が74%→75%、生徒が91%→95%という結果で、特に生徒については前期よりも更に高い数値を示しています。
- **「タブレット等ICT機器の活用」**については、意欲的に活用していると回答した保護者が71%→72%、生徒は88%→97%という結果で、特に生徒については前期よりも更に高い数値になっています。
- **「学校で学習したことを家庭で話をしたり、説明したりすることがある」**と肯定的に回答した保護者が67%→65%、生徒は88%→87%という結果で、保護者、生徒ともに前期よりも若干数値が下がっています。また、保護者と生徒の間で20%ほどの差があります。
- **「楯中Lifeを活用している」**と肯定的に回答した保護者が50%→53%、生徒は74%→72%という結果で、前期とあまり変わらない数値であり、他の質問結果と比較すると低い数値になっています。
- **「先生は、丁寧に教えてくれる」**と肯定的に回答した保護者が77%→82%、生徒は98%→98%という結果で、保護者の数値が前期より高くなり、生徒については前期と同様で非常に高い数値になっています。
- **「先生は、あなたが努力したことや良いところを認め、正しく評価してくれている」**と肯定的に回答した保護者が93%→91%、生徒は98%→98%という結果で、前期と同様で保護者、生徒ともに非常に高い数値になっています。



<今後の方針や具体策について>

- **「授業が楽しく、わかる、できる」**と肯定的に回答した生徒、保護者ともに前期を上回る数値になっており、学校としては、大変励みになる結果です。ただし、保護者で22%、生徒で6%があてはまらないと回答していることを真摯に受けとめ、授業改善に努めていきます。
- **「目標やめあてを持って、自ら進んで授業に取り組む」**と肯定的に回答した生徒、保護者ともに前期を上回る数値になっており、学校としては、大変励みになる結果です。ことができるように、「学びのプラン」等を示しながら取り組んできました。今後も、「学びのプラン」を更新しながら、生徒目線で、手応えある学習課題の提示などを研究していきます。
- **「ICT 機器の活用」**については、肯定的に回答した生徒が97%と非常に高い数値になっており、前期と比べても生徒の活用が進んでいる結果になりました。授業での効果的な活用に加え、スタディプロジェクトを活用した個別学習など、自主的な取り組みも見られます。今後も更に、生徒とともにより効果的な活用方法を考えていきたいと思えます。
- **「学校で学習したことを家庭で話をしたり、説明したりすることがある」**と回答した保護者は65%で、前期とほぼ同じ数値になっています。思春期でもあり、会話自体が減っているという声も聞かれますが、学校での学びがもっと話題になるよう、魅力的な授業を提供していきます。
- **「楯中Life」**の活用については課題が残る結果になりました。今年度の反省を生かし、来年度から楯中Lifeの形式をより使いやすいように編集しました。年度始めのオリエンテーションでは、その活用目的を確認するとともに、記入の時間を確保するなどして取り組んでいきたいと考えています。
- **「先生は、丁寧に教えてくれる」**については、肯定的に回答した保護者が前期よりも数値が高くなり、生徒は98%という高い評価を維持しました。この結果も大きな励みになりました。「どの学校よりも生徒たちを大事にする学校づくり」は、私たち教職員の「心意気」です。生徒との信頼関係の第一歩は、生徒に「寄り添う」ことだと考えています。信頼関係の更なる強化のために、生徒の声に真摯に耳を傾け、より良い方向に導けるよう取り組んでいきたいと思えます。
- **「先生は、あなたが努力したことや良いところを認め、正しく評価してくれている」**についても前期と同じように高い評価をしていただきました。来年度は、生徒一人ひとりの学校生活に目を配るとともに、校外活動の活躍も表彰等で紹介していきたいと考えています。

【 響 く 】「心が響きあう学校」… 自治力

4:とてもあてはまる 3:あてはまる 2:あてはまらない 1:まったくあてはまらない

数字上段：保護者（％） 下段：生徒（％）

NO	質問内容	4	3	2	1
8	お子さんは、場に応じた挨拶を進んで行っている。	21	67	11	1
		50	48	2	0
9	お子さんは、ボランティア活動に興味があり、参加している。	8	36	46	10
		32	37	25	6
10	お子さんは、家庭での手伝いや学校での係活動等に取り組んでいるようだ。	22	58	19	1
		53	45	1	1
11	お子さんは、家庭内や地域内の方々へ思いやりをもって行動しているようだ。	17	72	10	1
		53	45	2	0
12	お子さんの学級は、一人ひとりの良さが認められ、居心地が良い学級だと言っている。	18	71	9	2
		52	45	2	1

<今年度の取り組みや評価について>

◇今年度の取り組み

1 体験的な活動を核にした生徒会活動の活性化

- 生徒会常任委員会と各専門員会、学級との連携を密にし、多くの生徒が生徒会活動に積極的に参加できるようにしています。

2 生徒会活動、学校行事等、生徒の主体的な活動推進による集団づくり

- 運動会や文化祭では、実行委員を募り、実行員会を組織しました。そうした生徒の意欲を大切にしながら企画・運営を行い、達成感ある活動を行っています。



3 「Unity タイム」を活用したコミュニケーションスキルの向上

- 人と関わる力を向上させるために、コミュニケーションスキルを高める活動として「Unity タイム」を設定しています。全校 Unity タイム、学年 Unity タイムを定期的にも実施し、学級の枠をこえた、より豊かなかわりができるようにしています。



4 **地域行事、地域ボランティア活動への積極的な参加による「心づくり」の推進**

- ・生徒会企画のボランティアや地域から依頼のあるボランティアなど、幅広く参加できるようにしています。普段の学校生活で触れ合うことのない世代の人や地域の良さを知るなど、「豊かな心づくり」に努めています。

◇生徒の実態やアンケート結果より（前期との比較）

- ・「**場に応じた挨拶を進んで行っている**」と肯定的に回答した保護者が92%→88%、生徒は97%→98%という結果で、前期と同じように保護者、生徒ともに高い数値になっています。
- ・「**ボランティア活動に興味があり、参加している**」と肯定的に回答した保護者が46%→44%、生徒は68%→69%という結果で、他の質問項目と比較すると低い数値になっています。
- ・「**家庭での手伝いや学校での係活動等に取り組んでいる**」と肯定的に回答した保護者が75%→80%、生徒は96%→98%という結果で、生徒については、特に高い数値になっています。
- ・「**家庭内や地域内の方々に思いやりをもって行動している**」と肯定的に回答した保護者が91%→89%、生徒が97%→98%という結果で、高い数値になっています。
- ・「**所属する学級は、一人ひとりの良さが認められ、居心地が良い学級だ**」と肯定的に回答した保護者が88%→89%、生徒は92%→97%という結果で、高い数値になっています。

<今後の方針や具体策について>

- ・「**場に応じた挨拶**」に関しては、保護者の評価が若干下がったものの、前期から良好な結果になりました。学校生活の中でも生徒会を中心に“挨拶運動”を実践しています。来年度も更に、生徒会を中心に相手を意識した「明るく爽やかな挨拶」など、より質の高い挨拶を考えさせ、実践できるようにしていきたいと思えます。
- ・「**ボランティア活動への参加状況**」などについては、生徒と保護者の間で差があるようです。後期は前期に比べて、ボランティア活動の場面が少なかったのも事実ですが、3月8日に実施された“3.11絆ボランティア”には、多くの生徒が参加し、貴重な体験をしてきました。来年度は、そうした参加状況や活動の様子が保護者の皆様に伝わるように、学年だよりやホームページ等でより積極的に発信していきます。
- ・「**家庭での手伝いや学校での生徒会や係活動への取り組み**」も前期と同じように良好です。任せられた仕事をしっかりこなす責任感や、困っている周囲の人に手を差し伸べる優しさも身に付いているようです。また、役割を果たす中で、所属意識や新たな気づきがあると思えます。来年度も、今後も一人ひとりが支える集団、存在感や有用感を実感できるような取り組みをしていきます。

- ・「**家庭や地域での『思いやりある行動』**」についても前期と同じように良好です。来年度も学級活動や生徒会を中心にした学級の枠をこえた「Unity タイム」などを企画・実践していきます。そして、周囲の人とのより良い関り方を考えさせ、より良い生き方や善を志向する「**道徳的心情**」を育む教育活動を推進していきます。
- ・「**居心地の良い学級**」と感じている生徒が多いのは、前期と同じく大きな成果です。肯定的に回答した生徒の数値が98%という結果は、学級担任を中心とした学級経営に一定の評価を得たことにはなりますが、「あてはまらない」と回答している生徒もいるのも事実です。来年度は、より良い学級の様子や姿を具体化して、それに近づけるような取り組みを行っていきます。

【 琢 く 】「活力に満ちた学校」… 挑戦力

4:とてもあてはまる 3:あてはまる 2:あてはまらない 1:まったくあてはまらない

数字 上段：保護者 (%) 下段：生徒 (%)

NO	質問内容	4	3	2	1
13	お子さんは、希望や期待感を持って登校しているようだ。(学校に行くことには意義があると感じている。)	21	64	14	1
		42	50	6	2
14	お子さんは、友達関係などに満足しているようだ。	33	62	4	1
		54	45	1	0
15	お子さんは、パワーアッププロジェクト(早寝、早起き、朝ごはん、メディアコントロール)を意識して生活している。	7	43	41	9
		34	52	13	1
16	お子さんは、家庭での来客や地域の方々に対してきちんと挨拶ができている。	22	75	3	0
		38	54	7	1
17	お子さんは、「先生は、日頃から声をかけてくれたり、相談にのってくれたりしている」と言っている。	20	71	8	1
		47	49	3	1

<今年度の取り組みや評価について>

◇今年度の取り組み

1 各種アンケートの定期的な実施

- ・生徒が心身ともに健康で安心・安全な学校生活を送ることができるよう、毎月の「心のアンケート」や年2回の「生徒の心理調査」を実施しています。それぞれの結果を分析するとともに情報を共有し、生徒理解に努めています。

2 「パワーアッププロジェクト」による生活習慣改善と心身の健康づくり

- ・生徒の自己管理能力の向上を目指し、パワーアッププロジェクト(早寝、早起き、朝ごはん、メディアコントロール)を充実させ、心身の健康保持増進を目指す取り組みを行っています。

3 スクールカウンセラーと連携した教育相談の充実

- ・学級担任と定期的に実施する「教育相談」を中心に、生徒との対話を大切にしています。また、スクールカウンセラーと連携を図りながら、生徒を多面的に理解し、教育相談の充実を図っています。

◇生徒の実態やアンケートの結果より（前期との比較）

- ・「希望や期待感を持って登校している」と肯定的に回答した保護者が82%→85%、生徒が87%→92%という結果になっています。
- ・「友達などに満足している」と肯定的に回答した保護者が88%→95%、生徒が97%→92%という結果で、保護者の数値が高くなったのに対して、生徒については、若干数値が低くなっています。
- ・「パワーアッププロジェクトを意識して生活している」と肯定的に回答した保護者が45%→50%、生徒が80%→86%という結果で、前期に比べて保護者、生徒ともに数値が高くなったものの、生徒に比べて保護者には低い数値になっています。
- ・「家庭での来客や地域の方々に対してきちんと挨拶ができています」と肯定的に回答した保護者が96%→97%、生徒は90%→93%という結果で、生徒より保護者の方が高い数値になっています。
- ・「先生は、日頃から声をかけてくれたり、相談にのってくれたりしている」と肯定的に回答した保護者が90%→91%、生徒は97%→96%という結果で、高い数値になっています。

<今後の方針や具体策について>

- ・「登校への期待感」が高い結果となっており、来年度も生徒自身が手応えや達成感を実感できるような教育活動を展開し、より多くの生徒が学校への希望や期待感を持つように取り組んでいきたいと思えます。
- ・「友達関係」の充実は、学校生活の満足度に大きく関係するものです。来年は更に、教育活動の多くの場面で、意図的・計画的に、相手意識を大切にした接し方や話し方などを学ぶ機会を設定していきます。
- ・「パワーアッププロジェクト」の取り組みについては、前期より数値は高くなったものの、まだまだ不十分なところがあります。ただ、心身の健康を保持するために非常に大切な取り組みであることは事実です。家庭と連携を図りながら、特にメディアとの関わり方については、情報を共有していきたいと考えています。
- ・「家庭での来客や地域での挨拶」については、前期と同じように、よくできているという結果になっています。挨拶は、相手の存在を承認し、敬意を示す大切な行為です。得意・不得意はあるものの、自分ができる挨拶を考えさせ、更に良いものにしていきたいと考えています。
- ・「先生は、日頃から声をかけてくれたり相談にのってくれたりしている」と回答した保護者も生徒も前期と同じように90%を超えており、学校としても励みになる結果です。来年度も、「どの学校よりも生徒たちを大事にする学校づくり」を柱にして、生徒の表情や言動を観る目を大切にし、豊かなコミュニケーションを通して生徒理解に努めていきます。また、生徒が相談しやすい雰囲気づくりにも力を入れていきます。